

| 11月 モニターレポート | | 担当出張所 | 山崎出張所 |
|---|--|-------|-------|
| 担当区間 | 檜尾川合流点～大阪京都府境（阪急大山崎駅付近）（右岸28.2～35.4km） | | |
| モニター実施日時 | 令和元年 11月23日（土） 17:00～19:00 | | |
| 天候 | 晴れ | | |
| （見出し）夜の檜尾川付近 | | | |
| （内容） | | | |
| <p>今回は、檜尾川との合流地点に360度カメラで撮影してきました。またそこに2時間ほどいて、定点観測してきました。</p> <p>冬になり、暗くなるのが早くなってきて、ジョギングしている人や散歩している人が少ないのかなと思っていましたが、思いのほか、夏と変わらないほどの数の方々がありました。</p> <p>もともと檜尾川付近では車通りが激しい（しかもマナーや速度制限を守らない車が多い）ため、歩行者には危ないところだと思っていましたが、今回、ちょうど夕暮れ時に、おじいさんが川から釣り道具をもって土手に上がってきてヨロヨロと自転車に乗って、ゆっくり車道を走って帰るのを見ました。</p> <p>非常に危ない状況だなあとと思いながら見ていましたが、自転車は本来車道を走ることになっているので、歩道の整備というよりは、車道を広くして、自転車道を設ければ良いのではと思っていました。</p> <p>淀川には自転車道が整備されている場所もあると聞いています（三川合流地点付近？）。</p> <p>その道がもっと街中まで伸びていれば、健康増進、環境保護などの意味でも有意義なものなのではと考えていましたが、予算的になかなか実現は難しいのでしょうか。。</p> <p>さて、檜尾川付近の河川敷の植物を上から眺めておりますと、道の傍には、先月書いたように外来種が多い一方で、川の近くではススキの群落が生い茂っていることに気がきました。</p> <p>ヨシと混ざって分かりづらかったのですが、思っていたよりも広い範囲にまばらに生育していたので、なぜこのような状況になっているのかが気になりました。</p> <p>ヨシの野焼きはどの範囲で実施されているのでしょうか。</p> <p>火に対する耐性や植物ごとの野焼きからの復活の速さの違いなどは、淀川の植生にどのように影響しているのか、非常に興味深いです。</p> <p>これからもっと寒くなっていきます。</p> <p>河川敷は風が通るので、それを利用したイベント等あれば面白いなど、道の傍で定点観測しながら考えていました。</p> <p>例えば、芥川の鯉のぼり。</p> <p>芥川のは地域の一大イベントとなっており、川を中心に様々な人が交流している、一つの河川事業の成功</p> | | | |

例だと思っています。淀川であのようなことはできないのでしょうか。

川の近くで遊ぶのは危険ですが、ある程度整備すれば子どもたちが水に親しむことができるような場所になるのではないかと、淀川で何かイベントを開くならどんなものができるのか、考えていました。



完全に日が落ち、車道の傍に立っているのも危ないので、19:00ごろ帰りました。河川敷の日の入りの最初から最後まで見ていましたが、非常に美しいものでした。河川敷が照らされながら暗くなっていく様子は、ぼーっと眺めているには最適の景色だなと思います。ゆったりとした時間が流れていて、やはり河川敷は良いなあと感じていました。寒いだけがネックでしたが、それをのぞけば、こうしてモニターになっていなければ一生見なかったであろう景色を見ることができました。

今回は以上です。また来月よろしくお願いたします。

360度動画についてはyoutubeにアップしています。右のQRコードを読み取れば見ることができます。ジャイロがうまく機能せず、変な角度の動画になっていますが、次回撮影する際は、補正したのちに撮影しようと思っています。

※もしQRコードの記載は避けなければならない等の基準があった場合は、遠慮なく削除してもらえればと思います。



(意見・感想・処置等)

今月もモニターいただきありがとうございます。写真がとてもきれいですね。また、360度カメラからの視点、「YouTube」についても拝見いたしました。QRコードについては、きちんと読み取れましたので、そのまま掲載させていただきます。

さて、今回は主に檜尾川付近をモニターいただいたとのことですが、実は檜尾川の河川管理者は「大阪府（茨木土木事務所）」となっております。「国土交通省」ではありません。従って、付近の自転車道などの整備の有無等も、大阪府（茨木土木事務所）の管轄となります。ちなみに、「桂川サイクリングロード（京都八幡木津自転車道）」については、国土交通省管内にありますが、こちらは京都府が国土交通省から許可を受けて占用しています。

また、檜尾川付近には外来種が多いとの情報提供、ありがとうございます。念のため、こちらでも確認したいと思います。

“ヨシ原焼き”については、高槻市のホームページ等に掲載されると思いますが、位置的には、高槻市鶴殿付近です。この“ヨシを焼く”という行為には、そのまま枯れた古いヨシを放っておくと、混みすぎてしまって風通しが悪くなり、新しいヨシの生育に好ましくないことから、一度焼いてきれいにするということと、野焼きの熱によって種で繁殖するヨシ以外の植物が育つことを防ぐ目的があるようです。こうして、野生のまま放置するより、人の手が加わることによって、淀川の鶴殿では、質の高いヨシが育っていると聞いています。

最後に、淀川でのイベント企画に思いを寄せていただき、ありがとうございます。淀川河川事務所でも、河川レンジャーや地域住民の方、自治体等と連携しながら、様々な活動を行っています。よければ一度、ホームページを覗いてみて下さい。また、何かアイデアがありましたら、ホームページからでも構いませんので、お待ちしております。

それでは、来月、令和元年最後のモニターレポートを楽しみにしています。寒さが一段と増していると思います。モニターの際は、どうぞお気をつけ下さい。

◆高槻市HP

http://www.city.takatsuki.osaka.jp/rekishi_kanko/kanko/database/bunka/1327465576866.html

◆国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所HP

<https://www.kkr.mlit.go.jp/river/manabuasobu/mizuber ingp.html>